

<細胞像問題>

問題 1 35 歳、女性。検診、子宮頸部擦過、サイトピック

1. NILM (扁平上皮化生)
2. NILM (修復細胞)
3. HSIL (中等度異形成)
4. HSIL (上皮内癌)
5. AIS

問題 2 41 歳、女性。検診、子宮頸部擦過、サイトピック

1. NILM (エクソダス)
2. NILM (アルタネリア)
3. NILM (結核)
4. 腺癌
5. 胞状奇胎

問題 3 56 歳、女性。血性帯下、子宮腔部擦過、サイトピック

1. NILM (萎縮性膣炎)
2. LSIL (軽度異形成)
3. HSIL (高度異形成)
4. 角化型扁平上皮癌
5. 子宮内膜間質肉腫

問題 4 45 歳、女性。検診、子宮頸部擦過、ブラシ

1. NILM (卵管化生)
2. NILM (ヘルペスウイルス感染)
3. NILM (クラミジア感染)
4. HSIL (上皮内癌)
5. AIS

問題 5 65 歳、女性。不正性器出血、膣擦過、ブラシ

1. NILM (単純ヘルペス感染)
2. NILM (結核感染)
3. HSIL (高度異形成)
4. 絨毛癌
5. 悪性黒色腫

問題 6 50 歳、女性。検診、子宮腔部擦過、サイトピック

1. NILM (修復細胞)
2. LSIL (軽度異形成)
3. HSIL (中等度異形成)
4. HSIL (上皮内癌)
5. 角化型扁平上皮癌

問題 7 38 歳、女性。不正性器出血、子宮頸部擦過、ブラシ

1. HSIL (中等度異形成)
2. HSIL (上皮内癌)
3. AIS
4. 非角化型扁平上皮癌
5. 小細胞癌

問題 8 38 歳、女性。不正性器出血、内膜腫瘍、捺印

1. エクソダス
2. 結核
3. ヘルペスウイルス感染
4. 類内膜癌 G3
5. 胞状奇胎

問題 9 35 歳、女性。検診、子宮内膜吸引

1. 増殖期内膜
2. 分泌期内膜
3. 内膜増殖症
4. 類内膜癌 G1
5. 明細胞癌

問題 10 58 歳、女性。不正性器出血、子宮内膜擦過、ブラシ

1. 萎縮性内膜
2. 非角化型扁平上皮癌
3. 類内膜癌 G3
4. 平滑筋肉腫
5. 絨毛癌

問題 11 45 歳、男性。胸部異常陰影、気管支擦過。

1. 気管支腺
2. 多形腺腫
3. 腺癌
4. 腺様嚢胞癌
5. 腺扁平上皮癌

問題 12 35 歳、女性。咳嗽、気管支擦過

1. 気管支上皮
2. 多形腺腫
3. 腺癌
4. 粘表皮癌
5. 扁平上皮癌

問題 13 60 歳、男性。咳嗽、気管支擦過

1. 気管支腺
2. 多形腺腫
3. 腺癌
4. 粘表皮癌
5. 大細胞神経内分泌癌

問題 14 65 歳、男性。咳嗽、気管支洗浄液

1. ウイルス感染細胞
2. 肺クリプトコッカス感染
3. 肺カルチノイド腫瘍
4. 腺癌
5. 大細胞癌

問題 15 75 歳、男性。血尿、カテーテル尿

1. 反応性尿路上皮
2. 扁平上皮癌
3. 腎細胞癌
4. 高異型度尿路上皮癌
5. 腺癌

問題 16 81 歳、男性。血尿、膀胱洗浄液

1. 反応性尿路上皮細胞
2. ウイルス感染細胞
3. 内反性乳頭腫
4. 高異型度尿路上皮癌
5. 扁平上皮癌

問題 17 46 歳、男性。胃粘膜下腫瘍、EUS-FNA

1. 胃潰瘍瘢痕
2. GIST
3. 平滑筋肉腫
4. 腺癌
5. 扁平上皮癌

問題 18 68 歳、男性。膵尾部腫瘍、EUS-FNA

1. 腺房細胞
2. 膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMN)
3. 神経内分泌腫瘍 (NET, G1)
4. 小細胞癌
5. 腺癌

問題 19 42 歳、女性。右乳腺腫瘍、穿刺吸引

1. 正常乳腺
2. 線維腺腫
3. 非浸潤性乳管癌
4. 浸潤性乳管癌
5. 粘液癌

問題 20 56 歳、女性。甲状腺腫瘍、穿刺吸引

1. 橋本病
2. 腺腫様甲状腺腫
3. 濾胞性腫瘍
4. 未分化癌
5. 髓様癌

問題 21 49 歳、女性。側頭葉脳腫瘍、捺印

1. 上皮細胞
2. クリプトコッカス感染
3. グリオーマ
4. 悪性リンパ腫
5. 転移性脳腫瘍 (扁平上皮癌)

問題 22 50 歳、女性。上顎洞違和感、穿刺吸引

1. クリプトコッカス感染
2. アスペルギルス感染
3. 放線菌感染
4. カンジダ感染
5. 結核感染

問題 23 67 歳、男性。頸部リンパ節腫脹、リンパ節捺印

1. 反応性濾胞過形成
2. 壊死性リンパ節炎
3. びまん性大細胞リンパ腫
4. 古典的ホジキンリンパ腫
5. 転移性腺癌

問題 24 20 歳、男性。右膝痛、X線で骨透瞭像を指摘、腫瘤捺印

1. 骨嚢腫
2. 結核性骨髄炎
3. 骨巨細胞腫
4. 骨芽細胞腫
5. 骨肉腫

問題 25 73 歳、男性。腹水貯留精査、腹腔穿刺

1. 組織球
2. 反応性中皮細胞
3. 悪性中皮腫
4. 腺癌
5. 悪性リンパ腫

<筆記問題>

問題 26 日本臨床細胞学会認定施設に対する精度管理ガイドラインについて正しいのはどれか。

1. 報告書の保存期間は3年間を基本とする。
2. 細胞検査士の1日の検査検体数量は110枚までである。
3. 陰性報告において細胞診専門医の判定と署名は必要ない。
4. 修正および追加報告書が作成された場合、元の報告書を含めて保存する。
5. 日本臨床細胞学会の主催する外部精度管理プログラムに参加しなければならない。

問題 27 検体の採取と処理について正しいのはどれか。

1. 脳腫瘍の検体には擦過法が適している。
2. 自然尿は採取後、冷蔵しなければならない。
3. 子宮腔部の細胞診は子宮頸管および腔部の全面を擦過する必要はない。
4. 乳腺や甲状腺の穿刺吸引細胞診の穿刺針は通常14~16ゲージを使用する。
5. EUS-FNACでは病変の性状や部位によって穿刺針を使い分ける必要がある。

問題 28 細胞診の染色について正しいのはどれか。

1. ギムザ染色では強制乾燥を施行してはいけない。
2. ギムザ染色では細胞量により染色時間を調整する必要がある。
3. パパニコロウ染色は細胞塗抹後、直ちに固定する必要はない。
4. パパニコロウ染色は99%エタノールで固定しなければならない。
5. ヘマトキシリン・エオジン染色のマイヤー法は細胞診標本に適さない。

問題 29 染色法について正しいのはどれか。

1. 糖原 — PAS 反応
2. 真菌 — ズダンⅢ染色
3. 抗酸菌 — グロコット染色
4. 間質粘液 — ムチカルミン染色
5. 中性粘液 — アルシアンブルー染色

問題 30 液状化検体細胞診法について誤っているのはどれか。

1. 塗抹前に固定をおこなう。
2. 標本の再作製が容易である。
3. 遺伝子検査を行うことが容易である。
4. 乾燥に伴う不適正標本を減少することができる。
5. 細胞の重なりが均一な標本作製することができない。

問題 31 任意型検診について正しいのはどれか。

1. 費用は、公的資金が使用される。
2. 対象者は、一定の年齢範囲の住民などである。
3. 個人のレベルで利益と不利益のバランスを判断する。
4. 目的は、対象集団全体の死亡率を下げることである。
5. 予防対策として行われる公共的な医療サービスである。

問題 32 卵巣の細胞診で捺印標本作製が**最も困難**な腫瘍はどれか。

1. プレンナー腫瘍
2. 顆粒膜細胞腫
3. セルトリ・ライディッヒ細胞腫瘍
4. 明細胞癌
5. 未分化胚細胞腫

問題 33 子宮頸がん検診について誤っているのはどれか。

1. 頸管腺細胞の採取が望ましい。
2. HPV 併用検診が検診全体の約 8 割を占める。
3. 扁平上皮-円柱上皮境界から細胞を採取する。
4. ブラシによる細胞採取は不適正標本が少ない。
5. 妊娠女性において綿棒による採取は容認される。

問題 34 子宮頸部上皮内腺癌の細胞診所見として誤っているのはどれか。

1. N/C 比は高い。
2. 核小体は大型である。
3. 核の大小不同がみられる。
4. 円柱上皮細胞の形態を示す。
5. 核クロマチンは増量している。

問題 35 子宮内膜細胞診の細胞所見として誤っている組み合わせはどれか。

1. 増殖期内膜 — 明るい細胞質
2. 分泌期内膜 — 核分裂像はめだたない
3. 閉経期内膜 — シート状集塊
4. 妊娠期 — 合胞体栄養膜細胞
5. 類内膜癌 G3 — 高度な核異型

問題 36 子宮頸部細胞診の特徴的所見として正しい組み合わせはどれか。

1. ヘルペス感染 — 細胞質内封入体
2. カンジダ感染 — cannon ball
3. クラミジア感染 — 核内封入体
4. ガードネレラ感染 — clue cell
5. トリコモナス感染 — 毛髪状菌糸

問題 37 肺腫瘍と細胞所見の組み合わせについて誤っているのはどれか。

1. 硬化性肺胞上皮腫 — 乳頭状集塊
2. 腺癌 — 核内細胞質偽封入体
3. 小細胞癌 — 錯綜配列
4. 扁平上皮癌 — 流れ状配列
5. カルチノイド腫瘍 — 形質細胞様細胞

問題 38 微少浸潤性肺腺癌の判定基準について正しいのはどれか。

1. 粘液産生像がない。
2. 脈管侵襲像の有無は問わない。
3. 浸潤巣は最大径 10mm 以内である。
4. 微小乳頭状増生は浸潤を示唆する所見である。
5. 腫瘍内に複数の浸潤巣がある場合、個々の最大径を合算して大きさを評価する。

問題 39 中皮腫には陰性で肺腺癌に陽性になるマーカーはどれか。

1. CEA
2. EMA
3. D2-40
4. Vimentin
5. Cytokeratin AE1/AE3

問題 40 正しい組み合わせはどれか。

1. PSA 陽性 — BK ウイルス
2. 腎原性化生 — 結核
3. 核小体腫大 — 前立腺癌
4. デコイ細胞 — 前立腺カルシウム
5. ラングハンス型多核巨細胞 — マラコプラキア

問題 41 尿細胞診について誤っているのはどれか。

1. 随時尿での標本作製が望ましい。
2. 女性では扁平上皮系の細胞が認められることが多い。
3. カテーテル尿では、集塊状の尿路上皮細胞が出現しやすい。
4. 低異型度の乳頭状尿路上皮癌では、しばしば尿細胞診が陰性となる。
5. 高齢女性の尿細胞診で腺癌細胞を認めた場合、第一に尿膜管癌を疑う。

問題 42 乳腺病変の細胞像として適切でない組み合わせはどれか。

1. 乳管内乳頭腫 — 化生細胞
2. 良性葉状腫瘍 — 双極裸核
3. Paget 病 — 大型核小体
4. 小葉癌 — 繊細な核クロマチン
5. 管状癌 — 癌細胞の孤立散在像

問題 43 甲状腺がんの細胞像として正しい組み合わせはどれか。

1. 乳頭癌 — 細胞質内小腺腔
2. 濾胞癌 — ローピーコロイド
3. 髄様癌 — リンパ球背景
4. 未分化癌 — 壊死性背景
5. 悪性リンパ腫 — 砂粒小体

問題 44 超音波内視鏡ガイド下穿刺吸引細胞診 (EUS-FNAC) について正しいのはどれか。

1. 微量腹水は適応病変とはならない。
2. 出血傾向のある症例の診断に適している。
3. 嚢胞性病変に対して積極的に行われている。
4. 手技による偶発症の頻度は 10%程度である。
5. セルブロック法による免疫組織化学は補助的診断に有用である。

問題 45 体腔液細胞診について正しいのはどれか。

1. 悪性中皮腫の組織型としては肉腫型が最も多い。
2. 中皮腫細胞はアルシアンブルー染色に陰性である。
3. 胸水中に出現する中皮腫細胞は上皮様成分である。
4. 砂粒体を伴った乳頭状集塊出現は腹膜偽粘液腫の特徴である。
5. 腹水中の腺癌は細胞間に”窓 window”を形成するのが特徴である。

選択問題 A

問題 46 卵巣腫瘍の細胞像について誤っている組み合わせはどれか。

1. 卵巣甲状腺腫 — コロイド様物質
2. ブレンナー腫瘍 — コーヒー豆様核
3. 顆粒膜細胞腫 — Call-Exner body
4. 漿液性癌 — ホブネイル細胞
5. 卵黄囊腫瘍 — 硝子様小球

問題 47 卵巣腫瘍における抗体について正しい組み合わせはどれか。

1. AFP — 類内膜癌
2. CEA — 粘液性癌
3. P53 — 漿液性腺腫
4. WT-1 — 明細胞癌
5. Inhibin- α — 卵黄囊腫瘍

問題 48 子宮頸部細胞診判定とその取扱いについて誤っている組み合わせはどれか。

1. NILM — 次回の定期検診
2. ASC-US — 6 か月、12 か月後に細胞診再検
3. ASC-H — ただちに HPV 検査
4. LSIL — ただちに要精密検査
5. HSIL — ただちに要精密検査

問題 49 妊娠時の子宮頸部の細胞像について誤っているのはどれか。

1. 細胞成熟度指数 (M. I.) は左方移動を示す。
2. 合胞体トロホブラストは、多核細胞である。
3. 脱落膜細胞は内膜間質細胞由来の細胞である。
4. ラングハンス型トロホブラストは、単核細胞である。
5. アリアス・ステラ反応は内膜腺上皮細胞の良性変化である。

問題 50 HPV について誤っているのはどれか。

1. 33 型は子宮頸がん低リスク型である。
2. 18 型は子宮頸部腺癌の発生に関与している。
3. コイロサイトの存在は感染に伴う変化である。
4. HPV-DNA 検査は細胞診に比べ CIN2 以上の検出感度が高い。
5. 我が国では欧米に比べ 16 型、18 型による細胞診異常の割合が低い。

選択問題 B

問題 51 胸部腫瘍と免疫染色との組み合わせで適切でないものはどれか。

1. 硬化性肺胞上皮腫 — TTF-1
2. 胸腺癌 — CD5
3. 肺腺癌 — Calretinin
4. 肺小細胞癌 — Synaptophysin
5. 肺扁平上皮癌 — p40

問題 52 乳腺髄様癌の細胞像として適切でないのはどれか。

1. 充実性集塊
2. 大型核小体
3. 高い N/C 比
4. リンパ球背景
5. アミロイド物質

問題 53 正しいのはどれか。

1. 多形腺腫は 2 相性を示さない。
2. 粘表皮癌は中間細胞を伴わない。
3. ワルチン腫瘍はリンパ球性間質を伴わない。
4. 腺様嚢胞癌は筋上皮性腫瘍細胞がみられる。
5. 唾液腺導管癌はエストロゲンレセプターが陽性となる。

問題 54 リンパ節病変の特徴として正しい組み合わせはどれか。

1. 反応性リンパ濾胞過形成 — Bcl-2 の過剰発現
2. 菊池病 — 乾酪性類上皮細胞性肉芽腫
3. 節性濾胞辺縁帯リンパ腫 — Monocytoid B cell
4. Burkitt リンパ腫 — Dutcher body
5. Castleman 腫瘍 — ALK 陽性

問題 55 骨・軟部腫瘍について誤っているものを選べ。

1. 弾性線維腫は背部肩甲骨周囲が好発部位である。
2. 神経鞘腫では、palisading (柵状配列) がみられる。
3. 骨肉腫の好発年齢は 10 歳未満である。
4. 滑膜肉腫は、時に上皮様パターンを示す。
5. 後腹膜原発の肉腫で最も多いのは脂肪肉腫である。

選択問題 C

問題 56 転移性癌の口腔への転移部位で多いのはどれか。

1. 舌
2. 顎骨
3. 口唇
4. 唾液腺
5. 頬粘膜

問題 57 パパニコロウ染色による深層型異型細胞の胞体の色はどれか。

1. 黄色
2. 橙色
3. 赤色
4. 紫色
5. 青緑色

問題 58 細胞診を用いた口腔がん検診におけるがん発見率はどれか。

1. 1%
2. 5%
3. 10%
4. 15%
5. 20%

問題 59 尋常性天疱瘡に特徴的な細胞はどれか。

1. 泡沫細胞
2. Paget 細胞
3. Tzanck 細胞
4. Hodgkin 細胞
5. Decoy (デコイ) 細胞

問題 60 多形腺腫の発生母地はどれか。

1. 漿液腺房細胞
2. 粘液腺房細胞
3. 排出導管上皮細胞
4. 介在部導管上皮細胞
5. 線条部導管上皮細胞

<鏡検問題>

総合科

標本番号 1

年齢・性別 55歳・女性
臨床情報 不正性器出血
検体・採取法 子宮頸部・ブラシ擦過

問題1 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題2 推定診断として最も適切なものはどれか

1. NILM（萎縮性膺炎）
2. HSIL（高度異形成）
3. 扁平上皮癌
4. 腺癌
5. 小細胞癌

標本番号 2

年齢・性別 60歳・女性
臨床情報 不正性器出血
検体・採取法 子宮頸部・ブラシ擦過

問題3 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題4 推定診断として最も適切なものはどれか

1. NILM（頸管腺細胞）
2. NILM（予備細胞増生）
3. AIS（上皮内腺癌）
4. 扁平上皮癌
5. 腺癌

標本番号 3

年齢・性別 52歳・女性
臨床情報 不正性器出血
検体・採取法 子宮内膜・エンドサイト擦過

問題5 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題6 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 増殖期内膜
2. 子宮内膜増殖症
3. 類内膜癌（G1）
4. 類内膜癌（G3）
5. 明細胞癌

標本番号 4

年齢・性別 80 歳・女性
臨床情報 不正性器出血
検体・採取法 子宮頸部・ブラシ擦過

問題 7 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 8 推定診断として最も適切なものはどれか

1. NILM（カンジダ膣炎）
2. NILM（萎縮性膣炎）
3. LSIL（軽度異形成）
4. HSIL（上皮内癌）
5. 扁平上皮癌

標本番号 5

年齢・性別 55 歳・女性
臨床情報 不正性器出血
検体・採取法 子宮頸部・ブラシ擦過

問題 9 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 10 推定診断として最も適切なものはどれか

1. NILM（萎縮性膣炎）
2. HSIL（高度異形成）
3. 扁平上皮癌
4. 腺癌
5. 小細胞癌

標本番号 6

年齢・性別 23 歳・女性
臨床情報 腹部腫瘤
検体・採取法 腫瘤・剖面捺印

問題 11 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 12 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 顆粒膜細胞腫
2. ブレンナー腫瘍
3. 漿液性癌
4. 明細胞癌
5. デイスジャーミノーマ

標本番号 7

年齢・性別 47 歳・女性
臨床情報 検診
検体・採取法 子宮内膜・エンドサイト擦過

問題 13 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 14 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 増殖期内膜
2. 分泌期内膜
3. 脱落膜
4. 子宮内膜異型増殖症
5. 類内膜癌（G1）

標本番号 8

年齢・性別 38 歳・女性
臨床情報 検診
検体・採取法 子宮頸部・ブラシ擦過

問題 15 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 16 推定診断として最も適切なものはどれか

1. NILM（修復細胞）
2. NILM（扁平上皮化生細胞）
3. LSIL（軽度異形成）
4. HSIL（高度異形成）
5. 扁平上皮癌

標本番号 9

年齢・性別 43 歳・女性
臨床情報 検診
検体・採取法 子宮頸部・ブラシ擦過

問題 17 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 18 推定診断として最も適切なものはどれか

1. NILM（修復細胞）
2. NILM（扁平上皮化生細胞）
3. LSIL（軽度異形成）
4. HSIL（上皮内癌）
5. 扁平上皮癌

標本番号 10

年齢・性別 35歳・女性
臨床情報 外陰部搔痒感
検体・採取法 子宮頸部・ブラシ擦過

問題 19 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 20 推定診断として最も適切なものはどれか

1. NILM（クラミジア感染）
2. NILM（トリコモナス感染）
3. LSIL（軽度異形成）
4. HSIL（上皮内癌）
5. 扁平上皮癌

標本番号 11

年齢・性別 70歳・男性
臨床情報 大腸癌術後5年、鼠径リンパ節腫脹
検体・採取法 左鼠径リンパ節・捺印

問題 21 細胞所見として最も適切なものはどれか

1. 炎症性背景
2. 篩状細胞集塊
3. 目立つ不整形核小体

問題 22 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 皮膚リンパ節炎
2. 壊死性組織球性リンパ節炎（菊池病）
3. びまん性大細胞性B細胞性リンパ腫
4. 前立腺癌の転移
5. 大腸癌の転移

標本番号 12

年齢・性別 81歳・男性
臨床情報 咳嗽・胸部異常陰影
検体・採取法 喀痰

問題 23 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 24 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 気管支肺炎
2. 異型扁平上皮細胞
3. 腺癌
4. 小細胞癌
5. 悪性リンパ腫

標本番号 13

年齢・性別 73 歳・男性
臨床情報 胸部異常陰影
検体・採取法 肺腫瘍・穿刺吸引

問題 25 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 26 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 肺結核
2. ヘルペスウイルス感染
3. 腺癌
4. 非角化型扁平上皮癌
5. 悪性リンパ腫

標本番号 14

年齢・性別 60 歳・女性
臨床情報 胸部異常陰影
検体・採取法 肺腫瘍・腫瘍捺印

問題 27 細胞所見として最も適切なのはどれか

1. 無線毛気管支上皮細胞
2. 類上皮細胞性肉芽腫
3. ロゼット配列

問題 28 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 結核腫
2. 硬化性肺胞上皮腫
3. カルチノイド腫瘍
4. 腺癌
5. 悪性リンパ腫

標本番号 15

年齢・性別 45 歳・男性
臨床情報 甲状腺腫脹
検体・採取法 甲状腺腫瘍・穿刺吸引

問題 29 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 30 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 亜急性甲状腺炎
2. 腺腫様甲状腺腫
3. 濾胞性腫瘍
4. 乳頭癌
5. 髓様癌

標本番号 16

年齢・性別 61歳・男性
臨床情報 左顎下腺腫脹
検体・採取法 顎下腺腫瘤・穿刺吸引

問題 31 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 32 推定診断として最も適切なのはどれか

1. サルコイドーシス
2. ワルチン腫瘍
3. 多形腺腫
4. 腺様嚢胞癌
5. 上皮筋上皮癌

標本番号 17

年齢・性別 82歳・女性
臨床情報 右胸水
検体・採取法 胸水・穿刺吸引

問題 33 細胞所見として最も適切なのはどれか

1. 核の突出像
2. 多核細胞
3. 異常重積細胞集塊

問題 34 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 反応性中皮細胞
2. 腺癌
3. 扁平上皮癌
4. 悪性中皮腫
5. 悪性リンパ腫

標本番号 18

年齢・性別 81歳・男性
臨床情報 肝機能障害
検体・採取法 肝腫瘤・腫瘤捺印

問題 35 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 36 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 正常肝細胞
2. 肝硬変
3. 血管筋脂肪腫
4. 肝細胞癌
5. 転移性腺癌

標本番号 19

年齢・性別 52歳・女性
臨床情報 右乳房腫瘤
検体・採取法 右乳腺・穿刺吸引

問題 37 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 38 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 線維腺腫
2. 良性葉状腫瘍
3. 乳管内乳頭腫
4. 浸潤性乳管癌
5. 浸潤性小葉癌

標本番号 20

年齢・性別 71歳・女性
臨床情報 肉眼的血尿
検体・採取法 尿・自然尿

問題 39 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 40 推定診断として最も適切なのはどれか

1. ウイルス感染
2. 内反性乳頭腫
3. 腺癌
4. 扁平上皮癌
5. 尿路上皮癌

<鏡検問題>

歯科

標本番号 1

年齢・性別 68歳・男性
臨床情報 頬粘膜の違和感
検体・採取法 擦過細胞診、ブラシ

問題1 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題2 推定診断として最も適切なものはどれか

1. NILM（過角化症）
2. NILM（カンジダ感染）
3. OLSIL（軽度異形成）
4. OHSIL（高度異形成）
5. SCC（扁平上皮癌）

標本番号 2

年齢・性別 50歳・男性
臨床情報 耳下腺腫脹
検体・採取法 穿刺吸引細胞診

問題3 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題4 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 流行性耳下腺炎
2. 多形腺腫
3. ワルチン腫瘍
4. 粘表皮癌
5. 腺様嚢胞癌

標本番号 3

年齢・性別 88歳・男性
臨床情報 上顎歯肉腫脹
検体・採取法 擦過細胞診、ブラシ

問題5 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題6 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 歯肉炎
2. 過角化症
3. 血管腫
4. 扁平上皮癌
5. 悪性黒色腫

標本番号 4

年齢・性別 35 歳・男性
臨床情報 下顎歯肉腫脹
検体・採取法 穿刺吸引細胞診

問題 7 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 8 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 歯根嚢胞
2. 歯原性角化嚢胞（角化嚢胞性歯原性腫瘍）
3. エナメル上皮腫
4. 骨肉腫
5. 原発性骨内癌（顎骨中心性扁平上皮癌）

標本番号 5

年齢・性別 102 歳・女性
臨床情報 顎下リンパ節腫脹
検体・採取法 穿刺吸引細胞診

問題 9 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 10 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 結核性リンパ節炎
2. 悪性リンパ腫（Hodgkin）
3. 悪性リンパ腫（Non-Hodgkin）
4. 転移性腫瘍（腺癌）
5. 転移性腫瘍（扁平上皮癌）

標本番号 6

年齢・性別 42 歳・男性
臨床情報 舌縁部白斑
検体・採取法 擦過細胞診、ブラシ

問題 11 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 12 推定診断として最も適切なものはどれか

1. NILM（過角化症）
2. NILM（カンジダ感染）
3. NILM（ヘルペスウイルス感染）
4. OHSIL（高度異形成）
5. SCC（扁平上皮癌）

標本番号 7

年齢・性別 39歳・女性
臨床情報 臼歯部歯肉腫脹
検体・採取法 擦過細胞診、ブラシ

問題 13 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 14 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 粘液嚢胞
2. 多形腺腫
3. ワルチン腫瘍
4. 粘表皮癌
5. 腺様嚢胞癌

標本番号 8

年齢・性別 74歳・女性
臨床情報 頸部リンパ節腫脹
検体・採取法 穿刺吸引細胞診

問題 15 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 16 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 結核性リンパ節炎
2. 悪性リンパ腫（Hodgkin）
3. 悪性リンパ腫（Non-Hodgkin）
4. 転移性腫瘍（腺癌）
5. 転移性腫瘍（扁平上皮癌）

標本番号 9

年齢・性別 50歳・女性
臨床情報 舌縁部難治性潰瘍
検体・採取法 擦過細胞診、ブラシ

問題 17 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 18 推定診断として最も適切なものはどれか

1. NILM（過角化症）
2. NILM（ヘルペスウイルス感染）
3. OLSIL（軽度異形成）
4. OHSIL（高度異形成）
5. SCC（扁平上皮癌）

標本番号 10

年齢・性別 60歳・女性
臨床情報 口蓋腫瘍
検体・採取法 穿刺吸引細胞診

問題 19 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 20 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 粘液嚢胞
2. 多形腺腫
3. ワルチン腫瘍
4. 粘表皮癌
5. 腺様嚢胞癌

標本番号 11

年齢・性別 52歳・女性
臨床情報 歯肉のびらん
検体・採取法 擦過細胞診、ブラシ

問題 21 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 22 推定診断として最も適切なものはどれか

1. NILM（過角化症）
2. NILM（尋常性天疱瘡）
3. NILM（ヘルペスウイルス感染）
4. OHSIL（高度異形成）
5. SCC（扁平上皮癌）

標本番号 12

年齢・性別 40歳・男性
臨床情報 頸部リンパ節腫脹
検体・採取法 穿刺吸引細胞診

問題 23 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 24 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 結核性リンパ節炎
2. 悪性リンパ腫（Hodgkin）
3. 悪性リンパ腫（Non-Hodgkin）
4. 転移性腫瘍（腺癌）
5. 転移性腫瘍（扁平上皮癌）